

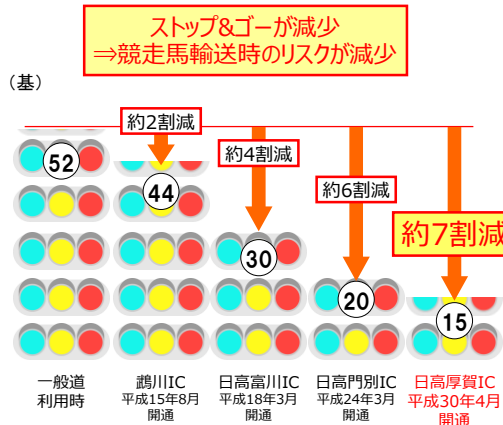
【日高自動車道】「競走馬」の安全な輸送を支援



日高自動車道

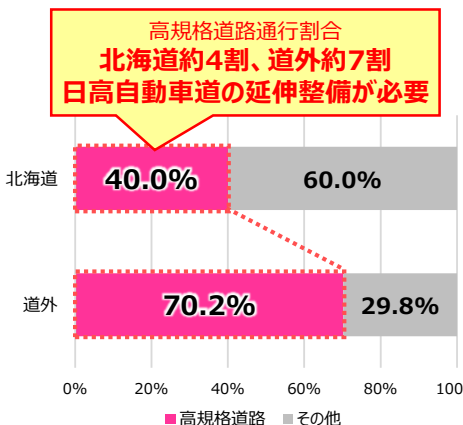
- 日高管内は、競走馬生産頭数の全国シェア約8割を占める日本一の馬産地
- 競走馬の輸送中は、一般道の信号停止等のストップ&ゴーにより、競走馬が怪我をするリスクがある
- 日高自動車道延伸による信号回避で競走馬輸送の安全性が向上し、競走馬への負担が軽減

信号機の回避状況 [苫小牧市～新ひだか町間]



資料：北海道信号機管理地図
※日高自動車道の延伸整備に伴う現道（国道235号）の信号機回避割合を整理

競走馬輸送における高規格道路通行状況



資料：軽種馬輸送車両ETC2.0特定プローブデータ（27台）
【分析期間】R5.1～R5.10（10ヶ月間）
※北海道から道外へ競走馬を輸送する際に通行する高規格道路とその他道路の距離の割合

日高地域の競走馬生産状況



声

北海道競走馬輸送事業共同組合

- ・一般道での輸送では、ストップ&ゴーによる怪我のリスクが非常に高いです。
- ・日高自動車道の延伸により、競走馬を安全に輸送できることが一番のメリットです。さらに、浦河方面からの競走馬の輸送時間や、馬運車のドライバーの勤務時間の短縮につながるため早期開通に期待しています。



声

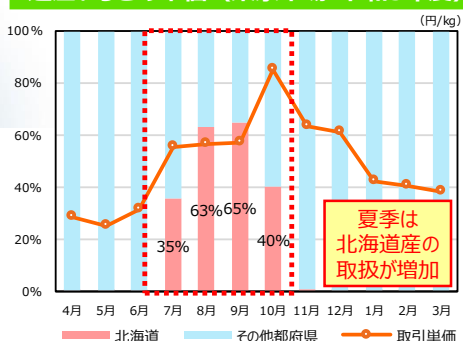
競争馬輸送事業者

- ・日高自動車道 新冠ICが開通することで、浦河方面の牧場から競走馬を輸送してくる際に静内の市街地を通行する必要がなくなること、輸送時間短縮・安全性向上につながることから、新冠ICの開通に期待しています。

【日高自動車道】 いちごの夏季 安定供給を支援

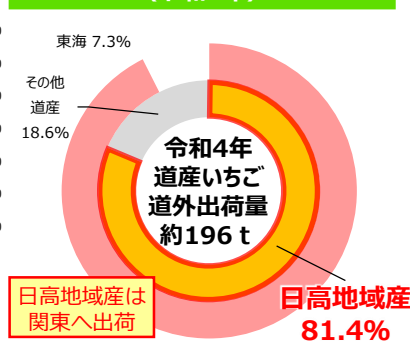


月別国産いちご取扱割合及び道産いちごの単価（東京市場・令和5年度）



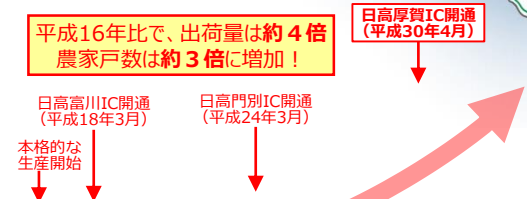
資料：東京都中央卸売市場 令和5年4月～令和6年3月の取扱実績

道産いちごの道外出荷割合（令和4年）



資料：令和5年度 農畜産物及び加工食品の移出実態調査(令和4年(2022)年) 結果報告書

浦河町・様似町のいちご出荷量・農家数の推移



資料：ひだか東農協ヒアリング

【日高自動車道】にいかっぶピーマン道外出荷に貢献

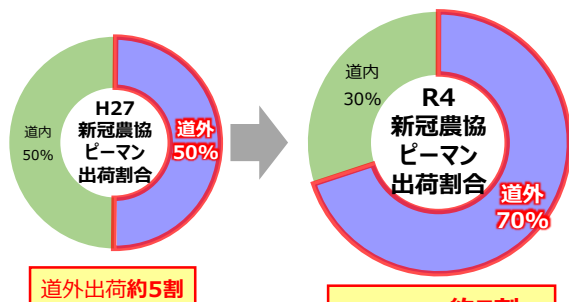
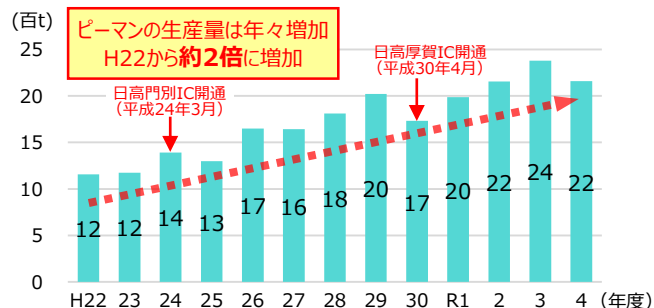


- 日高管内のピーマン出荷量は道内の約6割を占め、そのなかでも、新冠町農協では、ピーマンの生産量は年々増加し、平成22年度から約2倍に増加
- 方面別出荷割合をみると、道外への出荷が約7割、生産者や作付面積の増加分は道外へ出荷しているため、道外出荷比率は増加傾向
- 道外出荷時は高規格道路を通行し、苫小牧港・小樽港・函館港から出荷、日高自動車道等の整備は輸送時間短縮等にも貢献

北海道における振興局別 ピーマン出荷割合（令和4年）



新冠農協におけるピーマンの生産量の推移と方面別出荷割合



資料：新冠町農業協同組合ヒアリング

にいかっぶピーマンの道外出荷状況



声 ■新冠町農協

- ・ 道外へピーマンを出荷する際は、当組合から20tトレーラーで日高自動車道を通行し、苫小牧港9割、小樽港1割でフェリー輸送を行っています。
- ・ 苫小牧港からの出荷では、6月から10月の間、日曜日を除き毎日トレーラーが当農協～苫小牧港間を2～3往復しています。
- ・ 日高自動車道 新冠ICが整備されると、苫小牧港までの走行時間が短縮されるため、往復回数を増やせる可能性があり、輸送効率化が期待できます。



道外市場が大手スーパー等と提携し「北海道市」「北海道フェア」等のイベントを開催、にいかっぶピーマンをPR

資料：新冠町農業協同組合

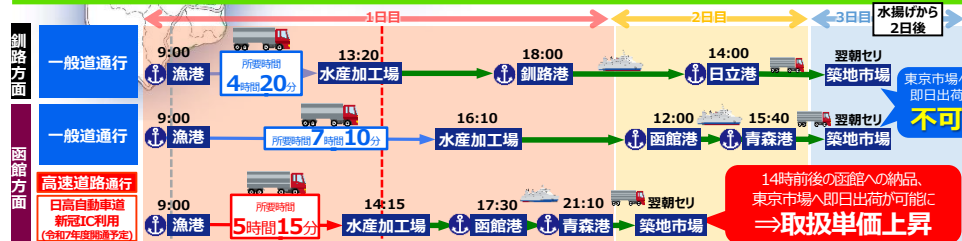
【日高自動車道】 東京市場への供給力拡大



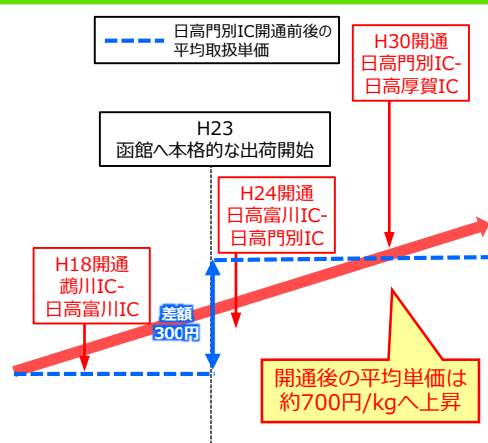
- 日高産さけは、釧路方面経由で東京市場へ出荷していたが、平成24年日高門別IC、平成30年日高厚賀ICと日高自動車道が延伸したことにより、東京市場へ1日早く出荷可能な函館方面経由の輸送に変更
- 日高自動車道の延伸により、日高産の鮭を翌日に東京の市場に届けることが可能となり、平均取扱単価が上昇



さけの方面別輸送スケジュール状況



さけの取扱単価の推移



声 ■ ひだか漁協

- ・ 日高産さけは、日高自動車道の延伸により、輸送時間が短縮され、函館の加工工場まで5時間程度で輸送でき、釧路の水産加工工場を通すよりも函館の加工工場を通したほうが、1日早く東京の市場に出荷できるので、東京の市場での取引価格も上昇しています。
- ・ 函館の水産加工業者が、東京の市場に向けて即日出荷するためには、14時前後には鮮魚が納品される必要があり、従来の苫小牧周辺から日高まで仕入圏域を拡大した背景には、鮮魚の輸送手段や技術の進歩はもちろんのこと、日高自動車道の整備による輸送時間の短縮が一番大きいです。

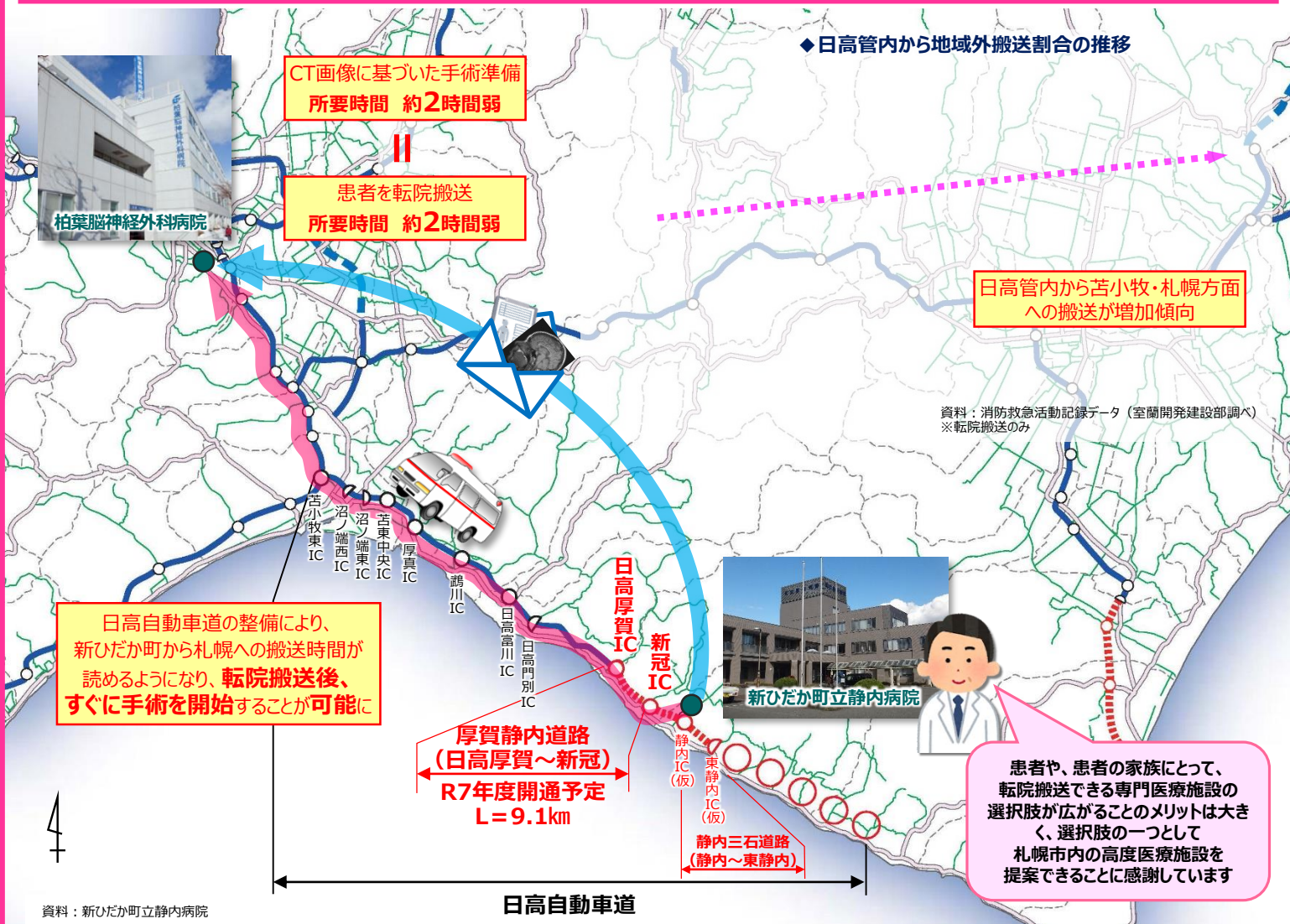
資料：北海道水産現勢調査生産高
※ひだか漁協の値は、静内、三石、新冠の漁獲量、漁獲高の合計値を使用

【日高自動車道】 新たな救急医療サービスを確立



- 日高管内から苫小牧・札幌方面への救急搬送割合が、平成20年より増加傾向となっており、管外の高度医療機関への依存度が年々増加
- 日高自動車道の整備に伴って速達性および定時性の向上が図られたことにより、札幌市内の高度医療施設との連携が可能となり、地方における医療の選択肢が拡大

新ひだか町立静内病院と札幌市の病院との医療情報連携状況



【日高自動車道】移住者増加を支援



- 日高管内は、道内でも涼夏少雪の気候であり、体験移住利用者の玄関口となる新千歳空港や苫小牧港からのアクセスの良さから人気
- 新ひだか町及び浦河町における体験移住は上位にランキングしており、日高自動車道の整備延伸に伴って、体験移住だけでなく、実際に移住した人数も増加
- 日高自動車道の整備延伸によるアクセス性向上が道外からの移住・定住の拡大に寄与

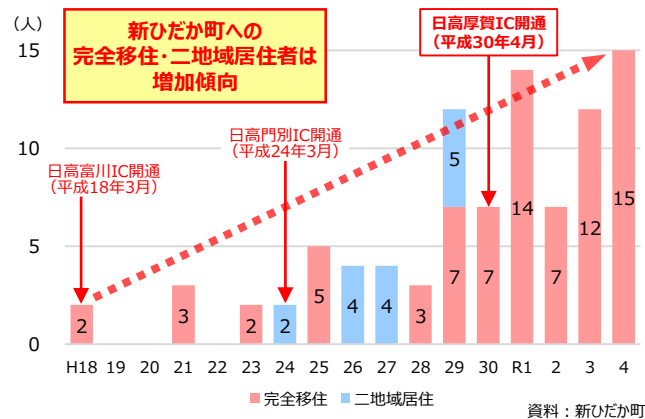
北海道体験移住利用実績（令和4年度）

◆利用者数【上位10自治体】 ◆体験移住滞在日数【上位10自治体】

順位	市町村	利用者数	順位	市町村	滞在日数
1	釧路市	2,267人	1	釧路市	23,726日
2	厚沢部町	548人	2	秩父別町	6,816日
3	浦河町	123人	3	厚沢部町	5,947日
4	上士幌町	106人	4	上士幌町	5,307日
5	清水町	79人	5	浦河町	4,031日
6	新ひだか町	68人	6	美瑛町	3,121日
7	東川町	64人	7	新ひだか町	2,877日
8	利尻富士町	62人	8	士幌町	2,452日
9	長沼町	59人	9	紋別市	1,933日
10	栗山町	57人	10	沼田町	1,680日

資料：北海道体験移住「ちよと暮らし」令和4年度実績（北海道総合政策部地域創生局地域政策課）

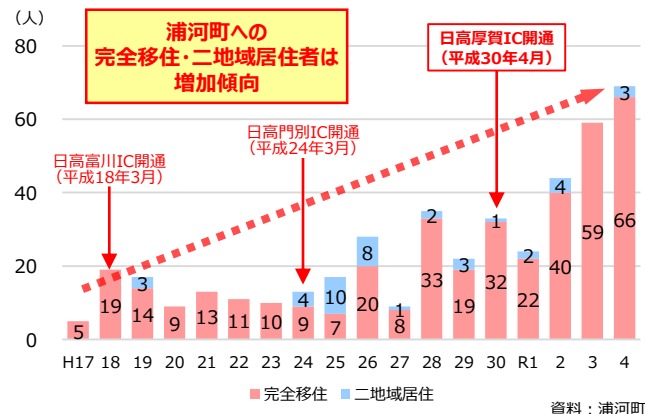
新ひだか町への移住者の推移



地方移住に寄与する日高自動車道の延伸



浦河町への移住者の推移



声 ■ 新ひだか町

- ・ 移住体験者の年齢や属性は、これまでは定年退職後の年齢層が主であったところ、コロナ禍以降は、完全テレワークを採用する道外企業で勤務する30代～40代の現役世代が増加しています。
- ・ 道外からの移住希望者は、「東京の勤務先からの突発的な呼び出しに当日中に対応するため、新千歳空港へ1時間半以内でアクセスできる場所であること」を移住先の選定基準としている人が多く、日高自動車道の整備が当町への移住希望者の増加や移住者獲得に寄与していることは間違いありません。

A wide-angle photograph of a road lined with blooming pink cherry blossom trees. The road is paved and has a white line marking. Several cars are parked along the right side of the road, including a silver SUV, a dark blue car, and a white van. A few people are walking on the sidewalk on the left side of the road. The sky is clear blue. The trees are in full bloom, with pink blossoms covering the branches. The road curves slightly to the right in the distance.

- ・日高富川ICが整備される前は、富川～会場までの国道で交通混雑が発生していたが、延伸整備により混雑が緩和されており、日高自動車道整備の効果を実感しています。
- ・日高自動車道が延伸整備されることで当町までのアクセスがよくなり観光入込数の増加が期待されます。